

2015年度 第7回 CPC 研究会

日 時: 12月11日(金) 13:30~16:30

会 場: 連合会館 201 会議室

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 TEL: 03-3253-1771)

参加費: 維持会員・大学官公庁関係 = 無料 / 非会員 = 15,000 円

<http://cpc-society.org/>

13:30 ~ 14:55

「炭素繊維の単繊維での機械的特性評価試験」

産業技術総合研究所 藤田 和宏 氏

- 1) はじめに
(1) なぜ単繊維なのか? (2) JISにおける炭素繊維の評価試験
- 2) 機械的特性評価試験
(1) 軸方向引張試験 (2) 軸方向圧縮試験 (3) 軸直角方向圧縮試験
(4) 曲げ試験 (5) ねじり試験
- 3) 評価に及ぼす外径計測の影響

炭素繊維は優れた機械特性を生かしてその利用がどんどん広がっています。近年、期待されている熱可塑性樹脂マトリックス複合材料の材料設計には、これまで以上に繊維の様々な方向の機械的特性を把握することが重要になってきています。講演ではこれまで演者らが取り組んできた様々な試験手法を紹介いたします。また、どの試験においても問題となる、断面形状、サイズの影響についてお話しします。

15:05 ~ 16:30

「未利用バイオマスを原料とした活性炭製造」

株式会社エム・イー・ティー 外山 富孝 氏

- 1) 活性炭の世界的な動向
- 2) 国内の未利用バイオマス
- 3) MET 式活性炭製造装置について
- 4) 各種バイオマスを原料とした活性炭の特徴と応用
- 5) おわりに

全世界で活性炭は150万ト/年 生産され、日本は20万トほど使用しており、内70%は輸入品であります。上水・下水などの水回りにて約80%を使用しています。世界で最も安全でおいしい日本の水道水は輸入活性炭に依存しています。世界の活性炭需要は年率11%で伸びており、需給のバランスが崩れる危険をはらんでいます。国内の未利用バイオマスを原料として活性炭を製造する技術があれば安心できます。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 029-861-8712
12月11日の研究会に出席します(連合会館 201 会議室)

お名前: _____ 維持会員 非会員 大学関係
ご所属: _____
Tel: _____ Fax: _____
E-mail: _____

